

平成 27 年度 決算 に 係 る

定 期 監 査 調 書

平成 28 年 6 月

鳥 取 療 育 園

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1
3	組織及び業務調べ	1
4	職員の定員、現員調べ	1
5	役付職員の調べ	1
6	主な事業に関する調べ	2
7	収入証紙取扱額調べ	5
8	収入事務処理状況調べ	5
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	7
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	8
11	不納欠損額調べ	8
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	8
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	10
14	財産に関する調べ	10
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	12
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	12
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	12
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	13
19	寄附物件の受納状況調べ	13
20	備品の処分状況調べ	13
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	13
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
22	当該年度における業務の概要	14
23	施設の利用状況	15
24	児童給食状況調べ	16
25	児童診療に要した時間数調べ	16
26	使用料（診療費）の調定・返戻、減点状況調べ	17
27	主な施設の整備状況調べ	18
○	意見、要望等	18

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課 名	係（担当）名	課 の 主 な 所 掌 事 務
	企画外来担当	児童発達支援センターとして、障がい児等の通所による日常生活における基本的動作の指導、独立自活に必要な知識技能の付与、集団生活への適応のための訓練及び治療に関する事務を所掌する。
	通園担当	
	地域支援担当	

4 職員の定員、現員調べ

(平成28年6月1日現在)

区分	種別	事務職員			技術職員			現業職員			計	備 考	
		当 年	該 度	27.4.1 現 在	当 年	該 度	27.4.1 現 在	当 年	該 度	27.4.1 現 在			
定 員		10		10	7		7	0		0	17	17	
現 員	( )	(1)		(1)	(1)		(1)	( )		( )	(1)	(2)	事務職員〔27.4.1現在〕 育児休業1
過不足(△)	10		11	8	8		8	0		0	18	19	
臨時職員	0		1	1	1		1	0		0	1	2	技術職員〔当該年度〕 育児休業1（言語聴覚士）
	0		0	0	0		0	0		0	0	0	技術職員〔27.4.1現在〕 育児休業1（言語聴覚士）
非常勤職員	3		2	1	1		1	2		2	6	5	心理療法士1、医療事務1 運転士1、調理員2、(新) 医師事務作業補助者1

5 役付職員の調べ

(平成28年6月1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間		備 考
		年	月	
園 長	前岡 幸憲	11	2	兼務：中部療育園参事
次長兼係長	大森 涼子	2	0	
課長補佐	(兼) 福田 成生	0	2	出納員 本務：総務部東部県税事務所課税課 庁舎管理・総務担当課長補佐

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要	要																												
<p>鳥取療育園費 決算額 19,999千円 (財源内訳) その他 19,999千円</p> <p>障がい児等地域療育支援事業 決算額 295千円 (財源内訳) 一般財源 295千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(7) 目的 本園は肢体不自由児通園施設として開所されたが、近年の支援ニーズの変化により、自閉症等発達障がいや言語障がい等に対する支援を行う東部地区療育の拠点施設としての役割も担うため、「通園事業」に加えて在宅の障がい児・者への相談支援、療育、地域の支援施設への支援等を行っており、現在では、①医療型児童発達支援センター ②児童発達支援事業所 ③医療機関(診療所) ④障がい児等地域療育支援事業の支援機関の役割をもつ施設となっている。</p> <p>※ 平成24年4月の制度改正により、①肢体不自由児通園施設⇒医療型児童発達支援センター、②児童デイサービス事業所⇒児童発達支援事業所と名称変更。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>① 医療型児童発達支援(平成28年3月31日時点での実績) 親子通所による肢体不自由や運動発達に遅れのある未就学児への療育及び保護者への育児支援(昭和50年開始)</p>																													
<p>福祉保健部管理運営費 決算額 28千円 (財源内訳) 一般財源 28千円</p>	<table border="1" data-bbox="438 884 1460 1041"> <tr> <td>実施日</td> <td colspan="3">[月～金] 10:00～14:00</td> </tr> <tr> <td>実人数</td> <td>20</td> <td>延べ人数</td> <td>1074</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td colspan="3">医師、保育士、児童指導員、理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)、看護師、心理療法士</td> </tr> </table> <p>② 児童発達支援 親子通所による自閉症等広汎性発達障がいのある未就学児への療育及び保護者への育児支援(平成19年開始)</p> <table border="1" data-bbox="438 1187 1460 1344"> <tr> <td>実施日</td> <td colspan="4">[火・木] 9:30～11:00、14:30～16:00</td> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td>178</td> <td>実人数</td> <td>20</td> <td>延べ人数</td> <td>629</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td colspan="4">保育士、児童指導員、OT、ST、地域の保護者(ピアカウンセリングの進行を依頼)、医師、心理療法士</td> </tr> </table>	実施日	[月～金] 10:00～14:00			実人数	20	延べ人数	1074	スタッフ	医師、保育士、児童指導員、理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)、看護師、心理療法士			実施日	[火・木] 9:30～11:00、14:30～16:00				実施回数	178	実人数	20	延べ人数	629	スタッフ	保育士、児童指導員、OT、ST、地域の保護者(ピアカウンセリングの進行を依頼)、医師、心理療法士				
実施日	[月～金] 10:00～14:00																													
実人数	20	延べ人数	1074																											
スタッフ	医師、保育士、児童指導員、理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)、看護師、心理療法士																													
実施日	[火・木] 9:30～11:00、14:30～16:00																													
実施回数	178	実人数	20	延べ人数	629																									
スタッフ	保育士、児童指導員、OT、ST、地域の保護者(ピアカウンセリングの進行を依頼)、医師、心理療法士																													
<p>県立社会福祉保健施設環境改善事業 決算額 329千円 (財源内訳) 一般財源 329千円</p>	<p>③ 外来診療 【小児科外来診療】 予約制による発達外来 平成17年度に常勤の医師1名(園長)が配属されたことから外来診療を開始。 診断・相談ニーズの顕在に伴い、受診者・相談者が増え続け、予約は4ヶ月先まで一杯の状態である。</p> <table border="1" data-bbox="438 1657 1460 1780"> <tr> <td>実施日</td> <td>[月・金] 8:30～10:00</td> <td>[火・木] 14:00～17:00</td> </tr> <tr> <td>延べ人数</td> <td colspan="2">3,619</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td colspan="2">医師、PT、OT、ST、心理療法士</td> </tr> </table>	実施日	[月・金] 8:30～10:00	[火・木] 14:00～17:00	延べ人数	3,619		スタッフ	医師、PT、OT、ST、心理療法士																					
実施日	[月・金] 8:30～10:00	[火・木] 14:00～17:00																												
延べ人数	3,619																													
スタッフ	医師、PT、OT、ST、心理療法士																													

事業名	概要																								
	<p>④ 障がい児等地域療育支援事業</p> <p>○施設支援一般指導事業</p> <p>医師、保育士・児童指導員・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士等多職種の職員が地域の保育所・幼稚園、特別支援学校、小学校等に出向いて、児の支援に関わるスタッフに技術等を助言。</p> <p>【施設支援】</p> <table border="1" data-bbox="437 613 1458 689"> <tr> <td>実施回数</td> <td>136</td> <td>対象人数(延)</td> <td>127</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td colspan="3">医師、保育士、児童指導員、PT、OT、ST</td> </tr> </table> <p>○地域療育担当支援員設置事業</p> <p>地域療育担当支援員が、相談のあった障がい児に対して各関係機関との連携・調整をとりながら、対象児のニーズに即した支援を行う。</p> <p>また、地域療育に携わる関係機関職員及び保護者等の資質向上を図るとともに、地域療育そのものの水準を高めていくためにセミナーを実施。</p> <p>【地域療育セミナー】</p> <table border="1" data-bbox="437 963 1458 1160"> <tr> <td>実施回数</td> <td>1回(12月19日開催)</td> <td>受講人数</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td colspan="3">医師、看護師、児童指導員、保育士、PT、心理療法士</td> </tr> <tr> <td>テーマ</td> <td colspan="3">幼児期から学童期への移行に向けて ～つながることで広がる支援～</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td colspan="3">さざんか会館5階 大会議室</td> </tr> </table> <p>イ 平成27年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p>(7) 医療型児童発達支援においては、3クラスを比較的安定して運営し、3クラス合同での行事も実施することができた(夏まつり、運動会、クリスマス会、卒園式)。クラス活動では、クラス担任が中心となって毎日活動計画を立案し、活動のねらいおよび、ひとりひとりの利用児童の姿・ねらい等がスタッフ間で共有されるように取り組んだ。それを、活動時にクラスのホワイトボードに記載し保護者へ提示することにも引き続き取り組んだ。意見交換会の他に、保護者の意見をさらに汲み取ることをねらいとして「つぶやきBOX」を設置した。</p> <p>(イ) 児童発達支援においては、平成27年3月に外来分室を移転新築して、安全、安心に過ごせる環境整備が図れた。近年の状況として、対応や適応が難しい幼児本人または保護者の育児不安感、負担感が強いケースが増えており、就学とともにエルマーを終了する家族にとっては大きな不安となっていた。そのため、保護者の要望に応える形で、学童期のフォローアップとして、「おとな勉強会」(保護者同士のピア・カンファレンス)を平成27年度から実施している。</p> <p>(ウ) 外来診療では、当園の役割を「医療的な見立て」「支援方針の決定」とし、日常的なフォローは地域の支援機関(診療も含め)に依頼できるよう、研修会等を通じて関係機関に「理解と協力」を求めて働きかけた。また「新温泉町(兵庫県)」町関係者と連絡会を行い、居住地での支援(診療・リハビリ等)を継続的に利用できるよう「体制づくり」「人材育成」についての話し合いを行った。</p>	実施回数	136	対象人数(延)	127	スタッフ	医師、保育士、児童指導員、PT、OT、ST			実施回数	1回(12月19日開催)	受講人数	140	スタッフ	医師、看護師、児童指導員、保育士、PT、心理療法士			テーマ	幼児期から学童期への移行に向けて ～つながることで広がる支援～			開催場所	さざんか会館5階 大会議室		
実施回数	136	対象人数(延)	127																						
スタッフ	医師、保育士、児童指導員、PT、OT、ST																								
実施回数	1回(12月19日開催)	受講人数	140																						
スタッフ	医師、看護師、児童指導員、保育士、PT、心理療法士																								
テーマ	幼児期から学童期への移行に向けて ～つながることで広がる支援～																								
開催場所	さざんか会館5階 大会議室																								

事業名	概要
	<p>ウ 成果</p> <p>(ア) 毎日の活動計画立案では、目に見える形で活動や児童のねらいが示されることで、スタッフ間での情報共有につながってきた。また、計画立案を行う保育士のスキルアップに繋がり、保護者への説明(口頭、ホワイトボードでの提示等)も細やかになってきた。ホワイトボードが充実することで、保護者の意識もより高まってきている様子。</p> <p>年2回の意見交換会や年度末の保護者アンケートを実施し意見交換の場を持ち、保護者からもいろいろな意見をいただくことができています。その保護者の意見を活動に反映できるよう考えたり、スタッフ間での振り返りや今後の方針を考えたりすることにもつなげている。また、昨年度に引き続き『医療型児童発達支援「きらり」』の取り組みが生活の中で活かされている・利用で生活が豊かになった』という項目では、ほとんどの保護者から良い評価を得ている。</p> <p>(イ) 児童発達支援では、外来分室を移転新築したことで、より安全、安心な支援の提供が行えるようになった。また、利用者及び関係機関を対象としたアンケートを実施し、全体的に高い評価をいただいた。満足度に関する肯定的な回答は、利用者関係機関ともに100%であった。さらに、就学後の現状を受けて学童期のフォローアップを行っていることで、小学校との支援会議に出席するなど関係機関との連携強化が推進された。</p> <p>(ウ) 外来診療については、現状でも、初診は4ヶ月待ちの状態が続いている。細やかな服薬調整、あるいはリハビリテーションが必要な早産低出生児の紹介が増えたことより、外部に紹介をかけることができるケースよりも、当園での対応が必要なケースの方が多くなっており、他機関との連携だけでは、初診待ちの時間を短縮することができない状況。新温泉町のケースは、町の保健師や浜坂病院の理学療法士と連携し、地域の医療機関でのリハビリテーション及び学校への施設支援ができる体制ができつつあるところ。</p> <p>エ 課題</p> <p>(ア) 個々のスキルアップ(職員それぞれの専門性を理解して支援に取り組む)及び安定した事業運営(将来的に持続可能な事業計画)各事業に医師の専門性が必要とされる部分が多く、総合療育センター及び中央病院の医師の協力を得て事業を実施しているが、外来診療は4か月待ちの状態が続いている。増加傾向の新患への対応(保護者の不安軽減、児の発達評価)を充実させるためにも、診察前の相談体制の充実が喫緊の課題である。</p> <p>(イ) 地域連携の強化</p> <p>地域のニーズ傾向の1つに、発達障がい児における幼児期から学童期への支援移行の困難さ解消がある。この懸案事項にあたり、当園は診療所に併設された福祉サービス事業所として、関係機関(地域自立支援協議会のメンバー等)との地域ネットワーク連携強化を図りたい。そして、児童発達支援利用前(乳幼児健診等の発見機会)からのフォローアップや、利用後(エルマー終了後の学童期)のフォローアップの充実を図りたい。</p> <p>(ウ) 施設の老朽化、狭隘化等への対応</p> <p>利用者の要望に応えられるよう増築等を行って来たが、近年増加している発達障がいに関する要望および必要とする支援に十分に対応できる施設・設備になっていない面がある。(外来診療に来た多動性・衝動性(動き回る)の発達障がい児と車いすに乗った通園児の動線が交わることがある。分室で実施している児童発達支援の機能訓練室は集団活動をする上で狭すぎるなど)。</p> <p>当面は、県立中央病院の新築後の平成31年度を目処に、現在の中央病院外来棟1階の一部に当園が全面移転する方向で検討中である。</p>

7 収入証紙取扱額調べ 該当なし

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金 該当なし

(2) 使用料

(平成28年4月30日現在)  
(単位：円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
	節	細節							
民生使用料	児童福祉施設使用料		209	5,522,236	5,519,920	0	2,316	児童福祉法等	施設使用料 (医療型児童発達支援)
			223	6,740,520	6,740,520	0	0	児童福祉法等	施設使用料 (児童発達支援)
			54	12,873,960	12,873,960	0	0	健康保険法等	診療報酬
		計(節)	486	25,136,716	25,134,400	0	2,316		
		目計	486	25,136,716	25,134,400	0	2,316		
		合計	486	25,136,716	25,134,400	0	2,316		

(3) 手数料

(平成28年4月30日現在)  
(単位：円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
	節	細節							
民生使用料	児童福祉施設手数料		48	827,310	829,360	0	△2,050	鳥取県社会福祉施設の設置及び管理に関する条例等	
			48	827,310	829,360	0	△2,050		
			48	827,310	829,360	0	△2,050		
		計(節)	48	827,310	829,360	0	△2,050		
		目計	48	827,310	829,360	0	△2,050		
		合計	48	827,310	829,360	0	△2,050		

(4) 財産収入 該当なし

(5) 諸収入

(平成28年4月30日現在)  
(単位：円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
保育実習等 研修受託事 業収入	保育実習等研修 受託事業収入		1	16,000	16,000	0	0	鳥取県立鳥取療育園 実習生受入事業実施 要綱	
		計(節)	1	16,000	16,000	0	0		
目計			1	16,000	16,000	0	0		
雑入	雑入	職員派遣経費	2	880,205	880,205	0	0		
		利用者負担軽減額	3	40,433	40,433	0	0	鳥取県児童発達支援 センター利用者負担 軽減事業実施要領	
		医師派遣経費	6	192,000	192,000	0	0	障害者総合支援法	
		医師意見書料	6	30,240	30,240	0	0		
		コピー代	1	860	860	0	0		
目計			18	1,143,738	1,143,738	0	0		
合計			19	1,159,738	1,159,738	0	0		



(6) 現金の取扱状況  
ア 現金取扱状況

(平成28年4月30日現在)  
(単位：円)

収入科目(節)	収入済額	備考
児童福祉施設使用料	6,128,298	医療費一部負担金等
児童福祉施設手数料	775,510	診断書料等
雑入	860	コピー代
合計	6,904,668 (3,180件)	

イ つり銭の状況

		(平成28年4月30日現在)	
つり銭の有無	有	つり銭の額(円)	30,000

9 収入未済額調べ

(平成28年4月30日現在)  
(単位：円)

収入科目 目	区分	過年度				現年度分				収入未済 額計 A+B	未理由			
		前年度以 前からの 繰越額	左のう ちの収 入済額	不納欠 損額	収入 未済額 A	収入未済額の調定年度内訳	収入済額	収入未済額 B	調定額					
												24年度 以前	25年度	26年度
民主使 用料	児童福祉施 設使用料	0	0	0	0	0	0	0	2,316	2,316	0	0	2,316	収入年月日 28年5月2日
	計(節)	0	0	0	0	0	0	0	2,316	2,316	0	0	2,316	
	目計	0	0	0	0	0	0	0	2,316	2,316	0	0	2,316	
	計	0	0	0	0	0	0	0	2,316	2,316	0	0	2,316	

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ 該当なし

11 不納欠損額調べ 該当なし

12 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(平成28年4月30日現在)

(単位:円)

予算科目 (目)	予算額令達額	負担金の名称	支出 先	負担率	支出年月 日	支出金 額	支出の根拠法令名等 (規約、要領等を含 む)	備 考
児童福祉総務費						0		
新規以外のもの						20,000		
目 計						20,000		
児童福祉施設費	401,000	中央病院併任医 師に対する負担 金	鳥取県 立中央 病院		28.4.4 外	316,910		文書ID15- 00176142
新規以外のもの						59,900		
目 計						376,810		
合 計						396,810		

(2) 補助金 該当なし

(3) 交付金 該当なし

## (4) 委託料

(平成28年4月30日現在)

(単位：円)

予算科目 (目)	国補 単 の別	委託料 の名称	委託契約 の相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月 日)	完了 年月日 履行検査年 月日	支出の状況			備考
				予定価格	契約年 (契約年 月日, ) 契約額	契約 期間			支出 区分	支出 年月日	金額	
児童福祉施設費	単県	給食調理等業務委託	(有)仕出し鳥ヶ島	598,609	(27.4.1)	27.4.1 ~28.3.31	27.3.16 (免除)	28.3.31	精	27.5.25	420,511	文書 I D 14-00176 061
	単県	機械警備委託	セコム(株)	259,200	(27.4.1)	27.4.1 ~2 8.3.31	27.3.23 (免除)	28.3.31	精	27.5.25	259,200	文書 I D 14-00181 170
予定価格が20万円未満のもの											413,923	
目計											1,093,634	
合計											1,093,634	

13 工事請負費調べ 該当なし

14 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地 該当なし

イ 建物

(平成28年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況			差引		備考			
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由		登記年月日	面積 (㎡)	価額 (円)
行政財産	鳥取療育園	鳥取市江津260外	1,128.33	191,373,065	減少	H27.9.30	282.34	32,508,610	所屬換		845.99	158,864,455	福祉保健課へ
計			1,128.33	191,373,065			282.34	32,508,610			845.99	158,864,455	
合計			1,128.33	191,373,065			282.34	32,508,610			845.99	158,864,455	

ウ 山林 該当なし

エ 動産 (船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機) 該当なし

オ 物権 該当なし

カ 無体財産権 (特許権、著作権、商標権、実用新案権等) 該当なし

キ 有価証券 該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成28年3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手及び郵便はがき	35,976円	133,750円	93,109円	76,617円	
収入印紙					
収入証紙					
タクシークーポン券					
鉄道バスプリペイドカード					
合 計	35,976円	133,750円	93,109円	76,617円	

イ タクシーチケットの受払状況 該当なし

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物 該当なし

(2) 物品 該当なし

16 借受不動産明細調べ

区分	種別	借受(使用)目的	所在地	数量又は面積	契約書の有無	契約の状況			借受先		備考
						借受期間	単価	本年度の借料(円)	住所	氏名	
土地	宅地	鳥取療育園	鳥取市江津260	1,129.78	有	S54.7.20 無期限		0	鳥取市江津730 鳥取県立中央病院 院長 日野理彦		
合計								0			

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅 該当なし

(2) 職員駐車場 該当なし

18 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ

(平成28年3月31日現在)

車種	年式	登録番号	取得年月日	総走行 キロ数	本年 度		備考
					車検年月日	修理費等	
マイクロバス	H16	鳥取200 さ265	16.03.31	5,683	28.3.22	278,222	
合計		1台				278,222	

19 寄附物件の受納状況調べ

(平成28年3月31日現在)

品名	規格、銘柄等	数量	見積金額	寄附申込 年月日	寄附申込者 氏名	受納 年月日	受納手続 の有無	備考
自走式子供用車いす	MATSUN AGASC T-50	1	49,165	27.6.30	高野山真 言宗青年 教師会	27.7.6	有	自走式子供用車いす
合計			49,165					

20 備品の処分状況調べ

(平成28年3月31日現在)

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管換年月日) 取得年月日	耐用 年数	取得価格	不用決 定年 月日	不用 とする 理由	処 分				備 考
							売却 棄却 の別	売却方法 ・棄却理 由	処分 年月日	売却額・ 処分費用	
カフアシスト (手動)	1	18.03.15	6	546,000	27.1 0.15	メンテナ ンスサポ ート期 間終了	棄却	売却不可	27.10.19	0	
トーキングエ イドセット	1	13.03.30	5	317,921	28.3. 31	破損	棄却	修理, 売 払不可	28.03.31	0	
トーキングエ イド	1	07.07.25	5	106,364	28.3. 31	破損	棄却	修理, 売 払不可	28.03.31	0	
合計										0	

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ 該当なし

(2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物が確認できなかった物品名	個 数
平成27年1月5日 ～ 平成27年2月20日	・有 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">・無</span>		

## 療育園個別事項

### 2.2 当該年度における業務の概要

#### (1) 医療型児童発達支援

「6 主な事業に関する調べ」に記載。

#### (2) 児童発達支援

「6 主な事業に関する調べ」に記載。

#### (3) 外来診療

##### ア 小児科外来診療（発達外来）

「6 主な事業に関する調べ」に記載。

##### イ ごきげん子育て教室

AD/HD児（幼児～小学校低学年）等の保護者を対象にペアレント・トレーニング  
11回コースを上半期に1回実施、5回コースを下半期に1回実施

実施回数	16	実人数	9
スタッフ	医師、心理療法士、児童指導員、保育士、助言者		

※AD/HD…注意欠陥・多動性障がい

#### (4) 障がい児等地域療育支援事業

##### ア 施設支援一般指導事業

施設支援 「6 主な事業に関する調べ」に記載。

##### イ 地域療育担当支援員設置事業

(ア) 地域療育セミナー 「6 主な事業に関する調べ」に記載。

##### (イ) 支援ツール研修会

幼稚園、保育所等の関係機関の職員を対象に発達障がい児の支援方法に関する研修会を開催

【平成27年度開催状況】（平成27年3月31日現在）

開催回数	5回
定員	10人（1回あたり）
受講人数（延）	46
開催場所	鳥取療育園外来分室

##### ウ 療育等支援施設事業（訪問療育等指導事業及び外来療育等指導事業）

医師や理学療法士・作業療法士、言語聴覚士等が障がい児の家庭や保育所、学校等に出向き、障がい児への支援に加えその保護者に対しても日常生活の中で可能な療育や介助の仕方を助言

実施件数	30
スタッフ	PT、ST



23 施設の利用状況

(1) 月別入退園調べ

(単位：人) (平成28年3月31日現在)

区分	前年度 3月末 現在	入退園の状況													年度末 現在	
		入退園 の 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		入退園 合計
男	7	入園	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3	7
		退園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	
女	9	入園	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	7
		退園	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	
計	16	入園	0	1	1	0	0	0	2	0	1	0	0	0	5	14
		退園	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6	7	

(2) 市町村別在園児童数

(単位：人) (平成28年3月31日現在)

区分	鳥 取 市	八 頭 町	岩 美 町	.	.	.									合計
男	5	1	1												7
女	6	1	0												7
計	11	2	1												14

(3) 年齢別在園児童数

(単位：人) (平成28年3月31日現在)

区分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	合計
男	1	1	2	0	3														7
女	0	1	2	3	1														7
計	1	2	4	3	4														14

(4) 児童退園の状況

(単位：人) (平成28年3月31日現在)

区分	施設入所	保育所入所	その他	合計
男	0	1	2	3
女	0	3	1	4
計	0	4	3	7

## (5) 障害等級別年齢別児童数

(単位：人) (平成28年3月31日現在)

区分	1 級	2 級	3 級以下	手続き中	未所持	計
0～3歳	2	2	0	0	3	7
4～6歳	7	0	0	0	0	7
7～9歳						
10～12歳						
13～15歳						
16歳～						

## (6) 病類別・年齢別児童数

(単位：人) (平成28年3月31日現在)

区分	脳性まひ	内反足症	遺伝子病・ 染色体異常	筋ジストロフ イー	その他	計
0～3歳	2	0	5	0	0	7
4～6歳	4	0	2	1	0	7
7～9歳						
10～12歳						
13～15歳						
16歳～						

## 2.4 児童給食状況調べ

(単位：食)

(平成28年3月31日現在)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
昼食	24	37	42	26	5	41	50	31	39	37	45	35	412

## 2.5 児童診療に要した時間数調べ

(単位：時間)

(平成28年3月31日現在)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
医師	82.5	87	113	119	87.5	92	110.5	108.5	114.5	109	86.5	125	1235
理学療法士	47.5	60.5	78	70.5	62.5	74	75	62.5	68	67	34.5	57.5	757.5
看護師													
作業療法士	0	4	5	7	4	5.5	8	8	12.5	8.5	7	10	79.5
言語聴覚士	8	12.5	17.5	22.5	22	17	11.5	14.5	18	17	23	18.5	202
検査	2	12	7	6	11	16	10	10	13	6	8	5	106
計	140	176	220.5	225	187	204.5	215	203.5	226	207.5	159	216	2380

2.6 使用料（診療費）の請求等の状況調べ

（単位：円）（平成28年3月31日現在）

区分	社会保険診療報酬支払基金						国民健康保険団体連合会						計			補装具 被保険 者負担	合計	
	請求額	返戻	増	減	調定額	請求額	返戻	増	減	調定額	請求額	返戻	増	減	調定額			
4月																	72,580	72,580
5月	(22,544) 638,090				638,090	94,109				94,109	(22,544) 732,199				732,199		99,560	831,759
6月	517,821				517,821	124,044				124,044	641,865				641,865		96,950	738,815
7月	675,504				675,504	113,707				113,707	789,211				789,211		107,730	896,941
8月	978,026			2,290	975,736	153,387				153,387	1,131,413			2,290	1,129,123		110,930	1,240,053
9月	958,143				958,143	176,358				176,358	1,134,501				1,134,501		114,800	1,249,301
10月	795,720				795,720	141,666				141,666	937,386				937,386		151,520	1,088,906
11月	807,483			2,290	805,193	145,088				145,088	952,571			2,290	950,281		110,040	1,060,321
12月	(2,290) 931,473			1,458	930,015	127,988				127,988	(2,290) 1,059,461			1,458	1,058,003		153,510	1,211,513
1月	(19,920) 906,731			27,264	879,467	159,074				159,074	(19,920) 1,065,805			27,264	1,038,541		85,390	1,123,931
2月	925,333			3,078	922,255	170,516				170,516	1,095,849			3,078	1,092,771		111,140	1,203,911
3月	938,291			13,408	924,883	156,708			4,374	152,334	1,094,999			17,782	1,077,217		176,840	1,254,057
計	(44,754) 9,072,615			49,788	9,022,827	1,562,645			4,374	1,558,271	(44,754) 10,635,260			54,162	10,581,098		1,390,990	11,972,088

（注）再請求分については、請求額欄の上段に（ ）で内書き。

27 主な施設の整備状況調べ  
特になし

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等  
特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等  
特になし